

2006 年度

科目名 ゼミナールⅠ	対象学科・学年 教福3回生	担当者 高村 博正
授業テーマ: 英語と教育に関する体験・調査・研究		
授業の概要と目標: 必ずしも英語に直接関係がない分野や視点からでも、ゼミ生が自ら発見した新しいものの見方や研究方法を 実践してみる。昨年度卒業したゼミナールⅡの先輩たちの卒業作品は、14名中、英語に直接関係がある論文は1編であった。 他の論文はそれ以外の研究領域の卒論であった。自由な発想で、多様な分野で豊かな感性を駆使して、新しくて意義のある研究 対象と方法を見つけよう。		
評価方法: 毎回の講義は学生と教員の自由な討論から生まれと信じている。そのためには、毎回の授業参加が必須である。毎回 が小テストという態度で相互評価を行う。学生も教師を評価し、お互いにより良い研究体制を確立しよう。		
テキスト: 授業中に各種のインターネット・サイトや参考文献を紹介する	著者:	出版社:
参考書: 『現代の英語科教育法』	著者: 石黒昭博	出版社: 英宝社
授業スケジュール・内容:		
【前期】 【後期】 16.Free Quick Writing とその理論 17.Free Quick Writing とその実践 18.「英語インタビュー」とその理論 19.「英語インタビュー」とその実践 20.「図解で考えるシステム」とその理論 21.「図解で考えるシステム」とその実践 22.TALK システムとその理論 23.TALK システムとその実践 24.発音クリニック Before/After と討論・評価 25.卒論指導「考え方」 26.卒論指導「原稿の書き方」 27.卒論指導「資料の集め方」 28.卒論指導「5段落方式」 29.討論:ゼミ1の総決算 30.後期テスト		
★在学生・卒業生・近隣の市民を対象に、毎週木曜日の2限と昼休みに「英語・通訳勉強会」を開いている。自由参加であるの でこのクラスの評価に連関しない課外活動であるが、ゼミ1の成果の確認には最適の機会である。できるかぎりこういう機会 を利用して、コミュニケーションとしての英語力を身につける態度が重要である。詳しくは担当者の個人的ホームページを参 照のこと: http://www.ne.jp/asahi/takamura/hiromasa/ ★英語や発音訓練や通訳訓練に関する各種質問やコメントはメールで送信すること (takamuh@osaka-ohtani-u.ac.jp)。 ★毎回提出するスコアカードは、採点後、その次のクラスで各自に返却する。		